

(別冊1)

令和6年度

事 業 報 告 書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

もくじ

【はじめに】 1

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業	4
(3) ボランティアセンター運営事業	5
(4) 社協会員加入促進事業	7
(5) まごころ銀行運営事業	7
(6) 遺贈等寄付金受入事業	7

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業	
①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8
(2) 地区社協育成事業	
①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8
(3) 地域福祉活動啓発事業	
①広報啓発事業	9
②若草福祉まつり開催事業	10
③懐かしの名画劇場開催事業	10
④認知症理解啓発事業	10
(4) 地域交流支援事業	
①地域交流サロン等活動支援事業	10
②道後温泉浴衣活用事業	11
③福祉団体助成事業	11
④子育て応援プロジェクト事業	11
⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業	11
⑥北条いきいき講座事業	12

(5) 見守り支援事業	
①安心カードみまもり支援事業	12
②認知症高齢者 S O S ネットワーク事業	12
③まつやま支えあいフードバンク事業	12

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業	13
(2) 障がい者総合相談窓口事業	13
(3) 福祉サービス利用援助事業	14
(4) 福祉資金貸付事業	
①生活福祉資金貸付事業	15
②緊急小口資金等特例貸付事業	15
(5) 聴覚総合支援事業	
①聴覚総合相談事業	16
②手話通訳者設置事業	16
③意思疎通支援事業	17
④意思疎通支援者養成事業	17
⑤聴覚障がい者等生活訓練事業	18

5 老人福祉センター事業

[新規] (1) 老人福祉センター管理運営事業	18
-------------------------	----

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業	20
(2) 地域福祉支援システム管理運営事業	22
(3) 北条社会福祉センター管理運営事業	22
(4) いきがい交流センターしみず管理運営事業	22
(5) 活動拠点整備事業	23

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業	23
②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業	23
③福祉機器貸出事業	23

[新規] ④バリアフリーマップ改訂版作成事業	24
------------------------	----

⑤かぎ預かり緊急時対応事業	24
---------------	----

(2) 介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業	24
②松山健康づくり体操教室事業	26

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

①要介護認定訪問調査事業	26
②生活保護受給者身体状況訪問調査事業	26
③住所地特例認定訪問調査事業	26
④障害支援区分認定調査事業	26

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業	26
②自立支援型ケアマネジメント推進事業	28
③介護サービス相談員派遣事業	28

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業	29
(2) 中核機関整備事業	30
(3) 法人成年後見事業	30

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業	31
②ボランティア養成講座事業	31

【はじめに】

人口減少・少子高齢化の進行や家庭における相互扶助機能の希薄化など、地域住民を取り巻く環境が大きな転換を迎えており、誰もが住みなれた地域でお互いに支え合い、自分らしく、生きがいをもって暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向け、包括的・重層的な各種施策の充実が求められています。

こうした中、松山市社会福祉協議会では、令和6年度から松山市の地域福祉計画と一体となった「第5期地域福祉活動推進計画（このまちのえがおプラン）」を策定し、「みんなが参加し つながり支えあう 共生のまちづくり」を新たな基本理念に掲げ、松山市や医療分野をはじめとする関係機関・団体、民間企業等との連携・協働を図りつつ、地域福祉活動の要である地区社協・地区民協活動の支援、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めました。

また、令和6年11月に発生した大雨災害により松山市内で被災された方に対して、災害ボランティア活動を実施するとともに、能登半島地震への職員派遣や、災害に関する研修会の開催など災害時の支援体制の強化に努めるほか、新たに老人福祉センター（3ヵ所）の指定管理者を受託し、高齢者に関する各種相談に応ずるなど、本会の特性である公平性・中立性・民間性を最大限に活かしながら、社会福祉協議会の理解者拡大と使命である地域福祉の一層の充実に取り組みました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

（1）社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成をはじめ、職員からの新規事業提案を募集するなど、職員の企画立案能力や意識向上を図った。また、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進を図るとともに、関係する規程等の変更を行い、労働環境整備等に努めた。

ア. 理事会の開催（現員数：理事13名・監事2名）

開催日	議 案	出席者数
令和6年6月4日	令和6年度資金収支補正予算について 令和5年度事業報告について 令和5年度収支決算について 処務規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について 公印規程の一部改正について 令和6年第2回評議員会の開催について	理事 11名 監事 1名
令和6年7月25日 (書面決議)	令和6年第3回評議員会の開催について	理事 10名 監事 1名
令和7年3月13日	令和6年度資金収支補正予算について 令和7年度事業計画について 令和7年度資金収支予算について 定款の一部変更について 経理規程の一部改正について 給与規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 退職手当等に関する規程の一部改正について 役員等賠償責任保険契約について 令和7年第1回評議員会の開催について	理事 12名 監事 2名
令和7年3月21日 (書面決議)	令和6年度資金収支補正予算について	理事 13名 監事 2名

イ. 評議員会の開催（現員数：評議員 21 名）

開催日	議 案	出席者数
令和 6 年 6 月 27 日	令和 6 年度資金収支補正予算について 令和 5 年度事業報告について 令和 5 年度収支決算について	評議員 22 名 理事 2 名 監事 1 名
令和 6 年 8 月 1 日 (書面決議)	役員の選任について	評議員 21 名
令和 7 年 3 月 27 日	令和 6 年度資金収支補正予算について 令和 7 年度事業計画について 令和 7 年度資金収支予算について 定款の一部変更について 役員の選任について	評議員 21 名 理事 2 名 監事 2 名

ウ. 実習生の受入等

実習種別	実習内容	学校数	人数	合計
社会福祉士	相談援助実習や臨地実習等	2 校	6 名	7 校 : 61 名 (目標 6 件 : 50 名)
臨地実習	ふれあい・いきいきサロン活動等の現場実習	2 校	46 名	
地域看護実習	八坂・雄郡・清水・余土・和気・石井東地区での現場実習	1 校	7 名	
インターンシップ (就業体験)	市社協の事業説明（松山市権利擁護センター）	2 校	2 名	

（2）パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

各種事業を効率的に実施するため、整備されたパソコン等の情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、安全な運用管理及びセキュリティ対策の強化に努めた。

設置状況	台 数	設置場所
社協 LAN	111 台	本所 外 8ヶ所
訪問調査業務	42 台	本所 外 3ヶ所

（3）小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により償還促進に努めた。

資金名称	徴収可能債権	償還件数(実人件)	償還金額
低所得者小口資金	9 件 (130,000 円)	0 件(0 名)	0 円
母子家庭等小口資金	1 件 (100,000 円)	0 件(0 名)	0 円
合 計	10 件 (230,000 円)	0 件(0 名)	0 円

※令和 6 年度、低所得者小口資金・母子家庭等小口資金の償還完了者はおりません。

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。また、各地区別の協力会員研修等の開催を積極的に支援し、協力会員への意識の醸成を図るとともに、地域関係団体等へチラシ配布を行うなど、新たな協力会員の確保に努めた。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
355名	1,629名	1,984名

・活動状況

延べ派遣回数	延べ派遣時間数	延べ預託点数	概要
5,442回	9,447時間	18,894点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	概要
福祉学習事業助成	39地区	3,070,000円	80,000円を限度に助成 (延べ実施回数100回)
活動計画策定助成	7地区	70,000円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000円を限度に助成
地区社協チャレンジ事業	4地区	300,000円	開始から3年目まで100,000円 その後3年間50,000円を上限に助成 *ただし、総事業費の1/2を限度

ウ. 地区別活動状況及び経理状況調査の実施

項目	概要
実施地区	市内地区社協(40地区)
調査期間	令和6年4月～6月
内容	会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

エ. 地区社協だよりの発行

項目	概要
実施地区	38地区/40地区中
発行回数	58回
内容	地区内各世帯への配布による地区社協活動等の周知・啓発(年1～4回発行)

(2) 生活支援体制整備事業

【市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため生活支援コーディネーターを配置し、地域のニーズや地域資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチング等の推進に努めた。

また、住民の地域活動にスポットを当てた「地域のお宝発表会 in まつやま」を開催し、地域の取り組みを関係者間で共有するなど、新たな社会資源の創設や事業の拡充に努めた。

ア. 関係機関とのネットワーク構築

項目	概要	実施回数等
第1層協議体 (市全域)	研修会：地域のお宝発表会 in まつやま (第1層協議体として開催) 開催日：令和7年1月29日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室	1回（目標1回） 参加者数：260名
第2層A協議体 (9ブロック)	研修会：地区社会福祉協議会連絡会ブロック 会議及びブロック研修会 (第2層A協議体として開催)	18回 (目標9ブロック×1回) 参加者数：延べ421名
第2層B協議体 (40地区)	座談会：暮らし支え合う井戸端トーク	65回 40地区/40地区中 (目標40地区×2回) 参加者数：延べ793名

イ. 地域資源の把握

項目	概要
地域のニーズと地域資源の把握	地区社協等、地域内の関係機関・団体と連携、協働し、協議体を活用しながら地域課題や取り組み等を共有
情報の整理及び見える化 (SNSの活用)	「へこまんくんといく！」 生活支援コーディネーターによる地域活動の取材及び SNS (Facebook・Instagram) を活用した啓発 (65件)

ウ. 地域支援体制の構築

項目	概要
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため地区社協が主催する協力会員研修会等で事業の周知に取り組んだ。

エ. 担い手の養成

項目	概要	参加者数
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	講座名：地域福祉リーダー養成講座 開催日：令和6年11月19日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室	58名（目標80名）
	講座名：地域つながりサポーター養成講座 開催日：令和6年7月30日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室	29名（目標20名）

(3) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティア活動の推進および振興・拡大に向けて、ボランティアのコーディネート機能の充実を図るとともに、小中学校における福祉体験学習の実施や、ボランティア団体・関係機関等との連携及び協働に積極的に努めた。

また、令和6年11月に発生した大雨災害では、被災された世帯を支援するため、迅速に災害ボランティア活動を展開するとともに、近年多発する地震などの自然災害を受けて、市民の防災意識が一層高まっていることを踏まえ、災害時における地域の支え合い体制を強化するため、災害ボランティア研修を開催した。

ア. 運営

項目	概要
松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等	運営協力および事業助成 ボランティアグループ相互の連携、協働及び情報交換、連携事業等の実施

イ. 登録数

項目	概要
団体	460団体（目標490団体） (新規：18団体)
個人	3,092名（目標3,100名） (新規：62名)
災害支援活動登録	個人 330名
	企業団体 80団体
	協定 1校（大学）・11社（企業等）

ウ. 福祉体験学習

項目	学校数等	延べ件数	延べ参加者数	概要
小学校	39校	129件	7,326名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学習等 (目標 70団体／130件 10,000名)
中学校	5校	30件	1,024名	
その他	3団体	10件	256名	
合計	44校・3団体	169件	8,606名	

エ. 各関係機関のボランティア関係事業協力等

関係機関・団体が実施する各種イベントにボランティア及び職員を派遣することにより、円滑な事業運営に努めた。

主催団体	参加回数
まつやまNPOサポートセンター運営協議会外21団体	46回（目標20回）

オ. 情報提供・広報啓発

項目	概要
「おせったい通信」の発行	発行回数 12回
	発行部数 3,500部（4月～12月） 2,500部（1月～3月）
	設置場所 市関係施設・県関係施設・銀行・福祉関係施設・各大学・銀行・企業等

LINE 公式アカウント	登録者数	1,439 名（目標 1,100 名）
	送信回数	31 回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	888 施設（目標 1,000 施設）
配布用リーフレット	発行数	12,000 枚
ホームページ	アクセス数	7,440 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	14 件

カ. 研修会・講座等の開催

講座名	概 要	参加者数
傾聴ボランティア養成講座	回 数：4回（令和6年6月6日～27日） 会 場：市総合福祉センター 1階大会議室 講 師：米子 香苗 氏（株式会社 Para ti 取締役）	36名 (目標 40名)
災害ボランティア研修	開 催 日：令和7年2月22日 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室 内 容：講演「26 災害の被災地から学ぶ現場力」 ワーキング：災害ボランティアセンターの おけるよう配慮者支援 講 師：山崎 水紀夫 氏（さんすい防災研究所代表）	59名 (目標 50名)
はじめてのボランティア講座	回 数：6回（令和6年7月20日～令和7年3月15日） 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室 ほか 内 容：ボランティアについて、ガイドヘルプ体験、 トライアスロンボランティア等、車いす体験、 障がい者スポーツ大会準備等、障がい者の音楽 の祭典準備等、朗読ボランティア体験 講 師：金村 厚司 氏(松山市ボランティア体験学習研究会きらり) 高橋 愛実 氏(CIL星空代表) 田村 啓子 氏(朗読奉仕こまどり会)	延べ 150名 (目標 120名)

キ. 防災とボランティアの日（災害ボランティアのパネル展示）

展示期間	概 要
令和7年2月 19日～27日	平成30年7月豪雨・令和5年6月30日からの大雨災害ボランティア活動 写真の展示

ク. 令和6年11月の大雨災害での災害ボランティア活動の実施

項 目	概 要
活動日数	7日間（令和6年11月4日～12月20日）
活動件数	8件
活動内容	家財の搬出、土砂撤去、家屋内の清掃
活動者数	延 63名

ケ. 能登半島地震災害支援活動（職員派遣）

クール	概 要
第 14 クール	期 間：令和6年4月5日～11日 場 所：志賀町社会福祉協議会（石川県） 参 加 者：市社協職員1名 内 容：災害ボランティアセンター運営支援

第 29 クール	期 間：令和 6 年 9 月 3 日～9 日 場 所：珠洲市社会福祉協議会（石川県） 参加者：市社協職員 1 名 内 容：災害ボランティアセンター運営支援
----------	--

(4) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

社協だよりや各種事業等を通じて市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため、継続加入並びに新規会員加入の拡大に努めた。

ア. 加入状況

会員種別	会員数	口 数	金 額	目 標	
個人会員 (個人)	1,730 名	2,005 口	2,005,000 円	(3,000 名)	(3,000,000 円)
特別会員 (団体)	178 団体	308 口	1,412,000 円	(500 団体)	(2,500,000 円)
賛助会員 (企業)	86 社	90 口	900,000 円	(150 社)	(1,500,000 円)
合 計	—	—	4,317,000 円	—	(7,000,000 円)

イ. 会員紹介状況

対 象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページ等への名称掲載	29 名・73 団体 ・82 社
賛助会員 2 口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレットコーナーの活用	4 団体・38 社

(5) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄附を受け入れ高齢者や障がい者の福祉サービス事業に活用するとともに、物品については寄附者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行うなど、広く社会福祉の推進及び寄附文化の醸成に努めた。

種 別	目 標	受 入	件 数	受入・払出手先
金 錢	4,370,000 円	1,898,411 円	26 件	市社協
物 品	—	りんご	2 件	児童福祉施設 4 ヶ所
	—	車いす	2 件	市社協
	—	住宅用火災警報器	1 件	地区民協

※えひめ中央農業協同組合 --- 23 商品の売り上げの一部を寄付 (55,119 円)

※感謝状の贈呈 (3 件)

(6) 遺贈等寄付金受入事業

【自主事業】

銀行・信託銀行と締結した遺贈に関する協定書（令和 4 年 3 月締結）に基づき、松山市をはじめ各銀行等と連携を図り相続や遺贈等の相談、遺言書の管理等を支援するとともに新たな協定先との締結ならびにチラシの配布等を通じて、理解者の拡大と寄附文化の醸成に努めた。

項 目	概 要
協定書締結先	松山市・伊予銀行・愛媛銀行・三井住友信託銀行・愛媛信用金庫

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を支給することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握に努めた。

項目	支給者数	概要
見舞金	98名	294,000円(3,000円/1名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を支給することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に努めた。

項目	件数	概要
住宅火災等見舞金	16件	320,000円(20,000円/1世帯)
死亡弔慰金	6件	120,000円(20,000円/1名)
合計	22件	440,000円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成し、地域福祉の推進に努めた。

助成先	助成額
市内全地区社協(40地区)	32,798,400円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、生活支援体制整備事業と連動した事業展開を通じて、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化に努めた。

ア. 会議等

会議名	概要	参加者数
地区社連 会長・事務 局長連絡会	第1回 開催日：令和6年4月16日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 内容：研修会・事務連絡等 演題：「このまちのえがおプラン」について 講師：松山市長寿福祉課 職員	会長・ 事務局長 67名 (目標80名)
	第2回 開催日：令和6年7月16日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室 内容：研修会・事務連絡等 演題：① 地域の支え合い活動の意義について ② 地域福祉サービス事業と協力会員研修会について 講師：① 聖カタリナ大学人間健康福祉学部助教 雜賀正彦氏 ② 松山市社会福祉協議会 地域支援課職員	会長・ 事務局長 72名 (目標80名)

	第3回 開催日：令和7年2月19日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室 内容：研修会・事務連絡等 演題：ふれあい・いきいき緩和型サロンの現状報告について 講師：松山市社会福祉協議会 地域支援課職員	会長・事務局長 65名 (目標80名)
ブロック会議	開催回数：9回 会場：市総合福祉センター 1階会議室他 内容：ブロック研修会の日程等について	45名 (目標40名)

イ. 研修会

研修会名	概要	参加者数
地域福祉リーダー養成講座	開催日：令和6年11月19日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 内容：講義・グループワーク テーマ：考えてみよう！自分が暮らす地区的『地域福祉活動計画』～地区社協が計画を策定する意義やポイントについて～ 講師：聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授 村岡則子氏	地区社協関係者 58名 (目標80名)

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

① 広報啓発事業

社協だよりの発行やホームページの運営、SNS（Facebook・Instagram・YouTube・LINE）を活用した広報活動等を通じて市社協事業等の紹介を行うとともに、求職者に対し、より詳しく仕事内容や先輩職員の声を紹介するため、新たに職員募集ページを開設するなど、一層の啓発に努めた。

項目	概要											
社協だよりの発行	年2回（約243,500部 / 1回）											
ラジオ放送	年4回（南海放送「みんなの松山」）											
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚（共同募金・日本赤十字社啓発用）											
ホームページの運営	ア. 松山市社会福祉協議会 (77, 443件) (目標 140,000件) イ. まつやまバリアフリーマップ (7, 232件) (目標 7,000件)											
Facebook・Instagramへの掲載	<p>市社協活動や地域行事等の紹介</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>SNS</th> <th>登録者数</th> <th>投稿件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Facebook</td> <td>1,030名（新規20名）</td> <td>261件</td> </tr> <tr> <td>Instagram</td> <td>939名（新規185名）</td> <td>261件</td> </tr> </tbody> </table>			SNS	登録者数	投稿件数	Facebook	1,030名（新規20名）	261件	Instagram	939名（新規185名）	261件
SNS	登録者数	投稿件数										
Facebook	1,030名（新規20名）	261件										
Instagram	939名（新規185名）	261件										
YouTubeの運営	市社協活動等の紹介およびオンライン研修会の実施 登録者数 219名（新規登録者数 32名） 投稿件数 2件											
LINE	市社協活動やイベント等の紹介 登録者数 415名（新規登録者数 34名） 投稿件数 8件											
LINEスタンプ	販売個数 146個（目標200件）											

②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2024」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。（＊総合福祉センター管理・運営事業（P20）に再掲）

③懐かしの名画劇場開催事業

日本の名作映画を上映することにより高齢者等の社会参加、生きがいづくりを促進するとともに優れた映画に触ることで、松山市における文化振興に努めた。

概 要	延べ参加者数
開 催 日：令和 6 年 12 月 7 日 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 上映作品：①けんかえれじい ②東京流れ者 ③独立愚連隊 ④日本のいちばん長い日	489 名 (目標 1,200 名)

④認知症理解啓発事業

9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、地域住民とともに、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という想いを共有し、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花による「オレンジロード」を啓発することで認知症理解の拡大に努めた。

概 要	延べ参加者数
日 程：令和 6 年 9 月 1 日～30 日 会 場：市総合福祉センター・市内各所 催 物：生花・写真・絵を飾り付けたオレンジロード	参加者数 720 名 (目標 450 名) 団体協力：53 団体 (目標 180 団体)

（4）地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン等活動支援事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロン及び農園サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉の増進に努めた。また、各家庭でプランター菜園を行い、参加者同士が交流を図る「オンラインサロン」等、柔軟なサロン活動を展開することで介護予防や孤立予防の推進に努めた。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	概 要
35 サロン (目標 46 サロン)	1,180,000 円	[交流] 1 サロン：1 開催 3,000 円(12 回を限度) [農園] 1 サロン：年間 40,000 円

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数		実施回数	延べ利用者数	平均利用者数
高齢者サロン	23 サロン	(目標 26 サロン)	321 回	5,534 名	17.2 名
子育てサロン	6 サロン	(目標 11 サロン)	73 回	1,376 名	18.8 名
障がい者サロン	2 サロン		34 回	501 名	14.7 名
合 計	31 サロン		428 回	7,411 名	14.7 名

農園サロン	4 サロン（目標 4 サロン）			
オンラインサロン	5 サロン（目標 5 サロン）	5 回	37 名	7.4 名

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の製作を行い、障がい者等の就労支援や社会参加・生きがいづくりを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉の P R 等に努めた。

項目	概要	販売数
松山トリコ 製品	<ul style="list-style-type: none"> ○おじやみクッショն ○エコバッグ ○湯玉トートバック（L サイズ・S サイズ） ○紙の湯カードケース（シングル・ダブル） ○湯あがりコースター ○湯あがりカバー ○湯玉サコッシュ <p>※「松山トリコ」10周年記念福袋 数量限定販売実施</p>	12 個（目標 25 個） 109 個（目標なし） 22 個（目標 45 個） 72 枚（目標 70 枚） 140 枚（目標 120 枚） 31 枚（目標 120 枚） 82 個（目標 120 個）
松山トリコ 製品展示	日 程：令和 6 年 7 月 3 日～31 日 会 場：松山市総合福祉センター 1 階ロビー 内 容：道後温泉本館再開・改築 130 周年記念にあわせて、「松山トリコ」（道後温泉本館貸浴衣リメイク商品）の展示を行い、周知・啓発に努めた。	

③福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動の支援に努めた。

助成団体数	助成額
11 団体（松山市身体障害者協会等）	400,000 円

④子育て応援プロジェクト事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、参加者同士が交流を図り様々なイベントを体験してもらい子育て世帯等への支援に努めた。

概要	参加者数
開催数：6回 会 場：清水小学校、双葉小学校、余土公民館、市総合福祉センター 内 容：ワークショップ、キッズシネマ、子ども服おさがり交換会	299 名 (目標 2 回)

⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業

子どもたちがともに遊び育ち合う場とともに、子育て中の親が気軽に集える場の提供に努めた。

概要	参加者数
開催数：4回 会 場：古川ふれあいセンター、市総合福祉センター、清水公民館	417 名 (目標 2 回)

⑥北条いきいき講座事業（旧事業名：北条文化の森いきいき講座事業）

北条圏域の地域福祉拠点である「北条社会福祉センター」を活用し、受講者の健康づくりや生きがいづくりに努めた。

概要	延べ参加者数
開催数：5回（令和6年11月7日～令和7年1月17日） 会場：市北条社会福祉センター 2階大会議室 内容：ボッチャ体験会、一から学ぶ健康マージャン、お片付けはじめの一歩セミナー、オカリナ演奏会、気功をはじめてみませんか	121名 (目標 150名)

（5）見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実に努めた。

登録者数	活用事例
13,765名（新規：396名） (目標 13,500名)	6件（累計202件：平成23年7月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症5件、中等症1件、重症0件、死亡0件、不搬送0件

②認知症高齢者SOSネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明となった高齢者の早期発見・保護に努めた。

検索協力者登録数		登録数	実施件数
個人	1,776名（新規：55名/目標100名）	752名 (新規：65名 /目標80名)	検索依頼 15件 メール配信 11件 (依頼累計138件※) ※平成25年度より
企業・団体	362団体（新規：15団体/目標40団体）		

③まつやま支えあいフードバンク事業

団体・企業等に食料品の提供協力を求めるとともに、生活困窮者等に対し緊急的に食料を提供できるよう協力体制の整備を行った。また、併せて安定的な食料品の確保ができるまでの緊急措置として、状況に応じ食料品を提供することで、利用者の不安解消や生活基盤の自立に向けた支援に努めた。

項目	概要	支援件数
保管場所	市総合福祉センター等	
支援団体・企業 (当年度)	①(有) プランネット ②(株) パソナ ③環境省中国四国地方環境事務所 ④松山市役所 環境モデル都市推進課	延べ支援人数 288名(目標300名) 延べ支援提供数 5,178食 (目標4,500食)
支援食料	お米・缶詰・レトルト食品・インスタント食品・水・カンパン等 ※未開封・賞味期限3箇月以上・常温保管可能・製造者表記・アレルギー表示のあるもの	

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口に職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援に努めた。

項目	対応件数等	概要
新規相談受付件数（総数）	680 件	来所、電話、訪問・同行等による相談、支援調整会議等含む
継続相談件数	2,841 件	
延べ相談件数（総数）	3,521 件	
支援計画（プラン）作成件数（総数）	81 件	支援調整会議における支援決定者数
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)	65 件	
法に基づく事業等利用件数	住居確保給付金	15 件
	一時生活支援事業	6 件
	家計改善支援事業	4 件
	就労準備支援事業	1 件
	自立相談支援事業による就労支援	67 件
その他	生活福祉資金等による貸付	10 件
	生活保護受給者等就労自立促進事業	64 件
一般就労者数	53 名	プラン未作成者 4 名を含む
增收者数	1 名	

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口に職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談や発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援・助言を行い課題解決に努めた。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
延べ件数	266 件	1,128 件	487 件	1,390 件	68 件	47 件	4,898 件	19 件	8,303 件

※その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

() 内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
延べ件数	2,958 件 (2,958)	15 件 (15)	824 件 (824)	644 件 (644)	22 件 (22)	168 件 (168)	1,375 件 (1,375)
	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計	
延べ件数	382 件 (382)	840 件 (840)	6 件 (6)	115 件 (115)	300 件 (300)	7,649 件 (7,649)	

ウ. 研修会の開催

項目	概要	参加者数
松山市障がい者虐待防止等研修会	開催回数：4回（令和6年7月1日 午後2回） （令和6年8月5日 午後2回） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テ ー マ：障がい者の虐待防止のための法的視点を学ぶ 講 師：射場和子氏（ひめはな法律事務所弁護士）	市内障がい福祉サービス事業所職員 参加者数 297名 (目標 300名)
松山市発達障がい者就労支援研修会	開 催 日：令和6年12月12日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 講 演：発達障がい者雇用の現状と上手な職場定着支援について 講 師：飯田 和一 氏(スタートティア ウィル(株)シニアアドバイザー)	一般企業の方 参加者数 35名 (目標 100名)
松山市障がい者差別解消法研修会	開催回数：2回（令和6年12月16日 午後・夜間） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テ ー マ：視覚障がい者が求める合理的配慮について 講 師：河野 貞之 氏（愛媛県立松山盲学校） 森本 優子 氏（愛媛県立松山盲学校）	市内障がい福祉サービス事業所職員 参加者数 71名 (目標 100名)

(3) 福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 契約件数

△	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	9 件 (新規 2 件) (終了 2 件)	34 件 (新規 6 件) (終了 2 件)	48 件 (新規 2 件) (終了 2 件)	3 件 (新規 0 件) (終了 0 件)	94 件 (目標 90 件) (新規 10 件) (終了 6 件)

※ () 内は、令和5年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延べ活動日数
9 名	667 回

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援に努めた。

①生活福祉資金貸付事業

申請内容	相談件数	申請件数
ア. 総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	72 件	0 件 0 件 0 件
イ. 福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	1,088 件	9 件 16 件
ウ. 教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	179 件	12 件
エ. 不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	46 件	0 件 0 件
オ. その他 (償還猶予申請等)	0 件	14 件
カ. 臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件
合 計	1,385 件	51 件

②緊急小口資金等特例貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に、安定した生活が送れるよう経済的自立の支援を目的とし、生活困窮者自立支援事業と連携した効果的な相談支援により、相談と貸付を組合せて問題解決、生計回復や自立を目指した生活意欲の助長促進に努めた。

申請内容	相談件数
ア. 償還方法等相談	267 件
イ. 償還免除相談	170 件
ウ. 償還猶予相談	483 件
合 計	920 件

*申請受付：令和4年9月30日終了

(5) 聴覚総合支援事業

【市受託事業】

①聴覚総合相談事業

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していくよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を図りながら総合的支援に努めた。

ア. 相談対応件数（連絡調整含む）

	来所	電話・Fax	電子メール	その他	合計
延べ件数	2,319 件	4,060 件	4,001 件	333 件	10,713 件

イ. 支援内容（連絡調整含む） () 内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延べ件数	1,504 件 (1,504)	10 件 (10)	412 件 (412)	31 件 (31)	2 件 (2)	26 件 (26)

	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延べ件数	21 件 (21)	826 件 (826)	10 件 (10)	91 件 (91)	0 件 (0)	1,427 件 (1,427)

	登録通訳者	啓発活動	通訳者を紹介	その他	合計
延べ件数	4,113 件 (4,113)	288 件 (288)	1,685 件 (1,685)	267 件 (267)	10,713 件 (10,713)

ウ. 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

概要	件数
愛媛大学、松山大学 ほか	186 件

②手話通訳者設置事業

松山市役所別館福祉総合窓口に手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意思疎通の支援に努めた。

内 容	身 体 障 害 者 手 帳 等	補 装 具 等	日 常 生 活 用 具 等	障 害 福 祉 サ ー ビ ス	介 護 保 險	生 活 保 險	医 療 保 險	年 金 手 当	就 労	教 育	住 居	税	窓 口 手 続 証 明 等	窓 口 手 続 証 明 以 外 等	相 談	そ の 他	合 計
件 数	28 件	22 件	36 件	34 件	21 件	10 件	131 件	28 件	12 件	3 件	18 件	59 件	22 件	273 件	44 件	276 件	1,017 件

③意思疎通支援事業

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者の派遣に努めた。

ア. 登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

内 容	個人に対する派遣									大 会 等 派 遣	合 計
	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他		
件数	2,503 件	2,211 件	101 件	22 件	24 件	50 件	16 件	3 件	261 件	5,191 件	81 件
											5,272 件

イ. 研修会の開催

項 目	概 要	参加者数
登録手話通訳者・要約筆記者研修会	開催回数：12回（令和6年4月22日～令和7年3月23日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室ほか 内 容：意思疎通支援制度・技術実習等（Zoom対応有り）	179名

ウ. 登録通訳者の健康診断の実施

登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施し、頸肩腕障害を予防に努めた。

項 目	概 要
受診者数	30名（手話通訳者18名、要約筆記者4名、手話・要約筆記者8名）

④意思疎通支援者養成事業

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導に努めた。

講座名	開催回数	修了者数
手 話 通 訳 者 養 成 講 座	基礎フォローアップ講座	午前40回・夜間40回
	手話通訳Ⅰ	午前42回・夜間42回
	手話通訳Ⅱ	午前36回・夜間36回
	手話通訳Ⅲ	午前16回・夜間16回
要約筆記者養成講座(手書き・PC)	45回	4名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面・オンラインを併用して実施

イ. 松山市全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保に努めた。

概 要	受験者数
実 施 日：令和7年2月16日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室	2名（内合格者1名）

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域において生活能力を高めるなど社会参加の促進に努めた。

項目	概要	延べ利用者数
生活支援訪問	訪問回数：74件 内 容：制度の情報提供や生活支援 等	286名 (目標 400名)
中途失聴者・難聴者の手話講座	開催回数：昼の部 20回・夜の部 20回 開催期間：令和6年4月16日～令和7年3月11日 内 容：手話学習と仲間づくり、暮らしに関する手話、冠婚葬祭に関する手話 等	418名 (目標 340名)
くらしセミナー	開催回数：10回(令和6年5月20日～令和7年3月17日) 内 容：消費生活トラブル・法律相談・だまされないために等	171名 (目標 100名)

5 老人福祉センター事業

(1) 老人福祉センター管理運営事業【新規事業】

【市受託・指定管理事業】

令和6年4月より新たに松山市老人福祉センター・松山市鷹子老人福祉センター・松山市中村老人福祉センターの3施設の指定管理を受託し、無料又は低額な料金で、高齢者に関する各種相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって健康で明るい生活を営ませることで福祉の増進に努めた。

利用状況等	①若草	②鷹子	③中村
団体数	—	58団体	11団体
延べ利用者数	9,823名	17,742名	5,192名
利用者アンケート	132名	325名	92名

教養講座	開催回数	修了者数	開催回数	修了者数	開催回数	修了者数
民謡	23回	9名				
絵手紙	23回	8名	22回	10名	23回	9名
社交ダンス（男）	23回	7名				
社交ダンス（女）	23回	13名				
大正琴	24回	7名				
吟詠	23回	7名				
カラオケA	23回	12名	23回	15名		
カラオケB	23回	16名				
ストレッチ体操A	23回	8名	24回	8名		
ストレッチ体操B			24回	8名		
俳句	24回	11名	20回	9名		
茶道	23回	8名	24回	6名		
ペン習字			24回	5名	24回	10名

手芸			24回	8名		
ちぎり絵			23回	3名		
シニア・ヨガA			24回	8名		
シニア・ヨガB			24回	11名		
折紙			23回	10名		
陶芸A					24回	10名
陶芸B					24回	10名

*①若草 --- 老人福祉センター管理運営事業（若草）

②鷹子 --- 老人福祉センター管理運営事業（鷹子）

③中村 --- 老人福祉センター管理運営事業（中村）

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営に努めた。

ア. 利用状況

延べ利用団体数	延べ利用人数	内容等
7,485 団体 (目標 8,800 団体)	129,238 名 (目標 220,000 名)	施設見学 0 団体 0 名 有料利用 16 件 616 名

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

項目	概要	参加者数
社会福祉啓発事業講演会	開催日：令和6年12月8日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室 演題：福祉×防災～熊本地震から学ぶコミュニケーションの大切さとレクリエーションの意義～災害に強い地域づくりについて 講師：上野 祥子 氏（熊本県レクリエーション協会会長）	110名 (目標300名)
認知症に関する講演会	開催日：令和6年9月28日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室 演題：認知症が私たち家族にくれたギフト 講師：信友 直子 氏（映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」監督）	210名 (目標250名)
福祉センター映画鑑賞推進事業 (わかくさ映画上映会)	開催日：令和6年9月21日（2回上映） 会場：市総合福祉センター 1階大会議室 内容：ぼけますから、よろしくお願ひします。 ～おかえりお母さん～	第1部 249名 第2部 218名 (目標600名)

ウ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2024」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	令和6年11月9日	令和6年11月10日
内 容	<input type="checkbox"/> ボランティア体験コーナー <input type="checkbox"/> 段ボール迷路 <input type="checkbox"/> 余剰品販売コーナー <input type="checkbox"/> 障がい者デイ作品展 <input type="checkbox"/> お茶席 <input type="checkbox"/> 人権擁護相談コーナー <input type="checkbox"/> ものづくり体験コーナー 等	<input type="checkbox"/> 映画「それいけ！アンパンマン ぱいきんまんとえほんのルルン」上映 <input type="checkbox"/> マッサージコーナー <input type="checkbox"/> 里親カフェ <input type="checkbox"/> 要約筆記体験、携帯ホワイトボード作り <input type="checkbox"/> 点字体験 <input type="checkbox"/> お楽しみ抽選会 等
	<input type="checkbox"/> 食品販売、お食事コーナー <input type="checkbox"/> 折り紙教室 <input type="checkbox"/> おもちゃ図書館 <input type="checkbox"/> 朗読体験	<input type="checkbox"/> 障がい者団体等バザー <input type="checkbox"/> ふれあい・いきいきサロンコーナー <input type="checkbox"/> 手編み作品販売 <input type="checkbox"/> 各種団体による喫茶、余剰品販売コーナー等
来館者数	延3,500名（目標4,000名）	
参加団体	47団体（ボランティア・福祉団体等）	

エ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進に努めた。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	D V D他	合 計
保 管 数	1, 191 冊	103 冊	3 本	159 本	102 枚	1, 558 点
貸出件数	58 件	0 件	0 件	10 件	11 件	79 件

オ. ロビー展等

市総合福祉センターロビー等の有効活用を図り、福祉に対する理解者の拡大に努めた。

概 要		実施期間等
ロ ビ ー 展 等	ア. 発達障がい関係団体活動紹介パネル展示	令和 6 年 4 月 2 日～29 日
	イ. 「民生委員・児童委員の日」の活動強化 週間に合わせたロビー展	令和 6 年 5 月 1 日～31 日
	ウ. 松山トリコ製品展示	令和 6 年 7 月 2 日～31 日
	エ. オレンジロード展示 (オレンジガーデニングプロジェクト)	令和 6 年 9 月 2 日～29 日
	オ. 人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	令和 6 年 12 月 2 日～6 日
	カ. ふれあい・いきいきサロン作品展	令和 6 年 12 月 16 日～27 日
	キ. 防災ポスター展	令和 7 年 1 月 14 日～31 日
	ク. 災害ボランティア・防災に関するパネル展示	令和 7 年 2 月 18 日～28 日
募 金 箱 の 設 置	ア. ウクライナ人道危機救援金	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
	イ. 令和 6 年能登半島地震災害義援金	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
	ウ. イスラエル・ガザ人道危機救援金②	令和 6 年 4 月 1 日～7 月 3 日
	エ. 2024 年台湾東部沖地震救援金	令和 6 年 4 月 8 日～7 月 3 日
	オ. 第 72 回松山港まつり・三津浜花火大会募金	令和 6 年 6 月 12 日～8 月 2 日
	カ. 令和 6 年 7 月 25 日からの大雨災害義援金 (秋田・山形)	令和 6 年 8 月 9 日～12 月 25 日
	キ. 赤い羽根共同募金	令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
	ク. レバノン人道危機救援金	令和 6 年 10 月 21 日～令和 7 年 3 月 11 日
セ ン タ ー の ラ イ ブ ル ア ッ プ	ケ. 令和 6 年度 N H K 海外たすけあい	令和 6 年 11 月 29 日～12 月 25 日
	コ. 令和 7 年大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和 7 年 3 月 11 日～31 日
	ア. 世界自閉症啓発デー及び発達障害啓発週間 (ブルー)	令和 6 年 4 月 2 日～8 日
	イ. 世界赤十字デー (レッド)	令和 6 年 5 月 8 日
	ウ. 世界小児がん啓発キャンペーン (イエロー)	令和 6 年 9 月 7 日
	エ. 世界アルツハイマーデー (オレンジ)	令和 6 年 9 月 21 日
	オ. 手話言語の国際デー (ブルー)	令和 6 年 9 月 23 日
	カ. 世界糖尿病デー (ブルー)	令和 6 年 11 月 14 日
	キ. 頭痛の日 (グリーン)	令和 7 年 2 月 22 日

その他	ご意見箱の常設（1階・4階・5階）	令和6年4月1日～ (平成19年8月1日設置)
-----	-------------------	----------------------------

（2）地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの適正な維持・管理に努めた。

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
36台	59,125名	2,060団体	1,506社

（3）北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営に努めた。

延べ利用団体数	延べ利用者数
1,777件（目標2,500団体）	10,786名（目標17,000名）

（4）いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び多世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に努めた。

ア. 地域交流事業

項目	対象	開催回数	延べ参加者数
友遊しみず (月・木曜日 10:00～15:00)	介護保険対象外の概ね 65歳以上の方	89回 (目標90回)	1,006名 (目標1,350名)
交流授業等	清水小学校児童等	授業52回 (目標40回)	3,915名
地域交流イベント	清水小学校児童・ 保護者等	1回	60名 (目標80名)
しみずサポートボランティア の活動	高校生・大学生等	99回	144名

イ. 講座等の開催

項目	概要	延べ参加者数
シニアライフ 講座	開催回数：9回（令和6年5月29日～7月24日） 会場：いきがい交流センターしみず 2階交流室1 内容：介護保険制度、成年後見制度、相続と遺言、認知症、 介護者のストレスケア、終活等 9テーマ	118名 (目標180名)
終活のススメ 講座	開催回数：4回（令和7年1月29日～2月19日） 会場：いきがい交流センターしみず 2階交流室1 内容：人生の振り返り、エンディングノートの活用法、 終活（遺言・任意後見）、終活のリアル等	59名 (目標60名)

ウ. 観察対応

概要		人数（団体数）
説明内容	事業概要、地区社協と小学校との協働・連携、児童と高齢者・地域住民との交流、地区民協等について	29名（2団体）

エ. 実習生の受入

実習種別	実習内容	学校数	人 数
教育実習	社会教育ボランティア実習・社会教育実践活動等	5校	31名
地域連携実習	清水小交流授業・福祉体験等のボランティア活動	1校	6名

（5）活動拠点整備事業

【自主事業】

企業及び関係団体等と連携して活動拠点の整備を図り、地域支援体制整備の強化及び要介護認定訪問調査事業における調査業務の効率化に努めた。

拠 点	概 要
えひめ中央農業協同組合桑原支所 1 階	地区関係団体等との連携強化

2 地域生活支援事業

（1）高齢者等支援事業

①愛の一聲訪問事業

【市補助事業】

77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週2回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消に努めた。

実利用者数	延べ訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,670名	262,540回	467名	778件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年4回の出張理容サービス（県理容生活衛生同業組合松山・古町・北支部）を実施し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減に努めた。

利用券交付者数	延べ利用者数	新規申請者数
7名	6名	2名

③福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている64歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式（レンタル業者4社）により福祉機器を貸し出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上に努めたが、公的サービスの充実や福祉機器レンタル業者の増加等による利用者の減少と多様化する利用者ニーズを満たせないことから令和6年度で事業廃止となった。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
5件	5件	0件

※新規申請1件、返却1件

④バリアフリーマップ改訂版作成事業【新規事業】

【市補助事業】

既存のバリアフリーマップ（パンフレット）の地図の尺図の拡大、2次元バーコードの採用、観光地の情報追加などの更新を行い、観光客や観光ボランティアを含むすべての方が利用しやすいマップを作成することで、障がい者や高齢者の外出支援の促進およびバリアフリーの周知・啓発に努めた。

項目	概要
パンフレット	A2サイズ（蛇腹5つ折り+2つ折り） 12,000枚
調査内容	官公庁・観光地・点字ブロック・音声信号情報・車いすトイレ等のバリアフリー状況調査

⑤かぎ預かり緊急時対応事業（かぎ預かりSOS）

【自主事業】

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者で、市社協個人会員（1口1,000円/年）に加入し、本事業の利用希望者を対象に、玄関等の鍵を預かり、生命に関わる等の緊急事態時に鍵を使って家屋内に立ち入り安否確認等を行えるよう体制づくりに努めた。

登録者数	安否確認件数
29世帯（内新規登録者数8世帯）	2件

（2）介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【市受託事業】

65歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援に努めた。また、「出前サロン」の積極的な実施や新しく始まった「緩和型サロン」の啓発に努め、地区社協と連携しながら新規サロンの立ち上げに努めた。

ア. 規模別サロン数

規 模 回 数 \	緩和型	小規模	中規模	大規模	基幹型	合計
月1回	42					42
月2回	16	48	44	2	0	110
月3回	0	11	9	0	0	20
週1回	18	13	19	0	0	50
週2回	0	1	0	0	1	2
週3回以上	0	0	0	0	1	1
合 計	76	73	72	2	2	225

イ. 活動状況

サロン活動登録者数（65歳以上）	3,619名
延べサロン開催回数	4,636回
延べサロン参加者数	70,942名
サロン活動登録者数（65歳以上）	(67,437名)
サロン参加者数（64歳以下）	(3,505名)

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	実施サロン数	延べ実施者数
①開眼片足立ち又は握力測定（体力測定） ②手がかり再生（脳トレーニング測定） *①②どちらかの測定のみも可能	通常サロン 145 緩和型サロン 77	2,574名 内訳：①②両方：1,720名 ①のみ：854名 ②のみ：0名

エ. サロン交流会の開催

概要	参加者等
開催回数：3回（令和6年11月28日～12月17日） 会場：市北条社会福祉センター、市鷹子老人福祉センター、 市総合福祉センター 内容：輪投げ大会、情報交換会等	延べ196名

オ. 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援に努めた。

項目	回数（予定）	延べ利用者数	平均利用者数	実施内容
釣島	6回（8回）	41名	6.8名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話 等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	8回（8回）	23名	2.9名	

カ. まちなかサロン実施状況

項目	開催回数	延べサロン参加者数
通常まちなかサロン	45回	601名
筋力向上プログラム	44回	610名

キ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 146 サロン
調査期間	令和6年4月1日～6月30日

ク. 広報啓発等

項目	概要
ふれあい・いきいきサロン通信の発行	3回（約960部 サロン関係者等への送付）

ケ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	101種類 492個	492件
DVD等	35タイトル 97枚	11件
プロジェクター	2台	58件

コ. デジタル化推進業務

項目	サロン数等	参加者数等
タブレット教室	42サロン	延べ参加者 408名
複数サロン間オンライン交流イベント	6回	延べ141名
サロンLINE公式アカウント	配信 26回	登録者 284名

介護予防情報 SNS 配信	ア. おうちでエンジョイへこまん生活 イ. サロンからこんにちは ウ. てくてく日記 エ. その他（交流会・研修等）	4回 4回 86回 11回
---------------	---	------------------------

サ. 出前サロン

概要	参加者数
開催回数：7回（令和6年4月11日～令和7年3月22日） 開催地区：五明、栗井、浅海、立岩 対象者：サロン活動に関心のある地域住民、地区社協関係者 内容：介護予防メニュー体験、レクリエーション、サロン事業説明、「通いの場」の啓発	108名

②松山健康づくり体操教室事業

【自主事業】

高齢者を対象に体操教室を実施し、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続に努めた。

概要	延べ参加者
開催回数：80回（令和6年5月～令和7年3月） 会場：市総合福祉センター 1階大会議室	3,960名（目標4,400名）
開催回数：40回（令和6年5月～令和7年3月） 会場：市北条社会福祉センター 2階大会議室	1,551名（目標1,800名）

3 調査・評価支援事業

（1）要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、公正で適正な認定に努めた。

調査内容	申請件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	24,825件	23,879件	23,860件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業 【市受託事業】	112件	117件	117件
③ 住所地特例認定訪問調査事業 【他市町村等受託事業】	780件	747件	747件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,604件	1,721件	1,721件

※要介護申請数（取り下げ含む）

※申請・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となるため

（2）社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図ることを目的に、介護サービス事業所や介護従業者が抱えている課題、実態把握等における調査や人材育成に資する研修を実施するなど、介護サービスの質の向上に努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	訪問回数
小規模多機能型居宅介護	23回
特定施設入居者生活介護	22回
地域密着型通所介護	9回
通所介護	40回
認知症対応型共同生活介護	2回
介護老人福祉施設	10回
短期入所生活介護	8回
介護老人保健施設	2回
合 計	116回

イ. 運営推進会議等への参加

会議名	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	133回

ウ. 研修の開催

概 要	参加者数
研修名：生活支援型訪問サービス従事者養成研修・介護に関する入門的研修（基礎編） 日 時：令和6年8月21日・28日 場 所：市総合福祉センター 5階小会議室 講 師：矢川 ひとみ 氏・三好 魁 氏（松山市長寿福祉課 基幹型地域包括支援センター）	7名
研修名：施設長・管理者・リーダー研修会 「介護現場のハラスメント防止」 日 時：令和6年9月11日 場 所：市総合福祉センター 5階中会議室 講 師：中田 康晴 氏（株式会社グッドコミュニケーション）	85名
研修名：介護職員スキルアップ研修「ノーリフティングケア研修」 日 時：令和6年10月30日 場 所：市総合福祉センター 1階大会議室 講 師：成川 ゆかり 氏・山村 千代美 氏（愛媛県介護実技普及指導員）	41名
研修名：介護職員スキルアップ研修「介護現場のターミナルケア・看取りについて」 日 時：令和6年11月18日～11月24日 場 所：動画配信（YouTube） 講 師：窪田 里美 氏（高齢者総合福祉施設ていれぎ荘・高齢者福祉施設味酒野ていれぎ荘施設長）	再生回数 731回 受講事業所数 85ヶ所 受講確認人数 362名
研修名：介護職員スキルアップ研修 「認知症の理解と生きるための支援 ～“その人”を知り、“その人の今”を知ること～」 日 時：①令和6年12月19日（対面） ②令和7年1月27日～2月11日（動画配信） 場 所：①市総合福祉センター 5階中会議室 ②動画配信（YouTube） 講 師：近藤 誠 氏（西条市丹原サービスセンター）	①48名 ②再生回数 332回 受講事業所数 40ヶ所 受講確認人数 194名

<p>研修名：ケアプラン研修会 開催数：2回（令和7年1月22日・2月19日） 場 所：①市総合福祉センター 1階 大会議室 ②オンライン研修（Zoom） 演 題：2年後の介護保険制度改正は始まっている！ ～今から準備・実践が求められる（居宅・施設）ケアマネジメント～ 講 師：阿部 充宏 氏（合同会社介護の未来 代表）</p>	<p>第1回 139名 第2回 50名</p>
--	--------------------------------------

②自立支援型ケアマネジメント推進事業

【市受託事業】

高齢者の住み慣れた地域での自立生活への支援に資することを目的として、事例提供をもとに地域包括支援センター単位で検討会議を毎月開催し、自立支援・介護予防の観点から多職種の専門的な視点に基づく助言やモニタリング会議を通じて、対象者の生活上の課題解決・改善等を図るとともに生活の質の向上に努めた。

項目	概要
開催回数	12回
検討委員	15名 （薬剤師、看護職（訪問看護）、リハビリの専門職、栄養士、歯科衛生士 各3名） 1回の会議につき5名が参加（各専門職から1名ずつ）
対象事例	24事例 （担当地域包括支援センター圏域内に居住する新規（6ヶ月以内）に要支援又は要介護1・2の認定を受けた者。要支援、要介護から各月1事例ずつ）
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援に向けた市民及び関係者の意識改革 ・介護保険制度の理念「尊厳の維持」「自立支援」の考え方を全体で共有 ・多職種と「ネットワークの構築」が出来る機会の創出 ・専門職及びサービス提供事業所等、参加者のスキルアップ並びにスキルの平準化 ・検討会議を通して地域に不足している社会資源を把握

③介護サービス相談員派遣事業

【市受託事業】

施設等の介護サービスが提供されている場へ介護サービス相談員を派遣し、利用者の日常的な不平、不満、疑問等の相談に応じるとともに、利用者の生活の観察やサービス提供事業所におけるサービスの実態を把握し、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。また、登録相談員に対し、現任研修への参加や連絡会の実施により、相談活動に必要な知識・技術のスキルアップや意欲の向上に努めた。

ア. 実施状況

登録相談員	施設訪問回数	延べ派遣相談員数	相談件数
27名	10施設（97回）	194名	423件

イ. 介護サービス相談員連絡会の開催

概要	参加者
<p>開催回数：2回（令和6年6月13日、令和7年3月6日） 会 場：市総合福祉センター 4階調理実習室ほか 内 容：事業の実施状況について、相談員への伝達・共有・注意事項、 相談員としての相談支援の在り方、意見交換</p>	延べ21名

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各種研修会の開催やパンフレットの作成・配布することで、成年後見制度の周知啓発に努めた。また、地域住民が後見等業務の新たな担い手として活動できるよう育成及び支援に努めた。

ア. 主な活動

項目	概要	件数等
相談支援（一般相談）	相談受付件数	149 件
成年後見制度普及啓発	各種イベント参加件数・講師派遣等件数	40 件
	パンフレット配布部数	3,821 部
成年後見制度担い手養成等	市民後見制度普及啓発件数	1 件
	市民後見人養成講座開催数	2 件

イ. 研修会の開催

講座名	概要	参加者数
権利擁護市民セミナー	開催日：令和6年9月27日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 開催方法：ハイブリッド開催（Zoom配信） 内容：「知っててよかった！成年後見制度」 講師：弁護士 山岸 義和 氏（かちまち法律事務所） ※市民後見人養成フォローアップ研修会と同日開催	会場 51名 オンライン 17名 合計 68名 (目標 200名)
市民後見人養成フォローアップ研修会	開催日：令和6年9月27日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 開催方法：ハイブリッド開催（Zoom配信） 内容：「事例で解説！やってみよう後見事務」 講師：弁護士 山岸 義和 氏（かちまち法律事務所） ※権利擁護市民セミナーと同日開催	会場 47名 オンライン 17名 合計 64名 (目標 50名) (内8名が市民後見人養成講座〈過年度開催〉修了者)
成年後見制度実務者研修	開催日：令和6年11月27日 開催方法：オンライン開催（Zoom配信） 内容：「事例で考える！成年後見制度利用支援について」 講師：司法書士 谷本 亜希美 氏（公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートえひめ支部副支部長）	会場 29名 オンライン 59名 合計 88名 (目標 100名)
市民後見人養成講座【新規】	【入門編】 開催日：令和7年2月19日、2月26日 開催方法：集合研修（動画視聴） 市総合福祉センター4階ボランティア研修室 内容：市民後見人養成講座「成年後見制度概論」他 【基礎編】 開催日：令和7年2月27日、3月5日、3月6日 開催方法：集合研修（動画視聴） 市総合福祉センター4階ボランティア研修室 内容：市民後見人養成講座「市民後見概論」他	延 70名

(2) 中核機関整備事業

【市受託事業】

判断能力が十分ではない人が成年後見制度を適切に利用できるように、「成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 29 号）に基づく中核機関として、各関係機関及び団体と連携し、成年後見制度の利用促進に努めた。

ア. 相談支援（専門相談）

概 要	件数等
延相談支援件数	177 件
相談受付件数	114 件
成年後見制度利用申立支援件数	10 件
後見等受任団体紹介件数	0 件
後見人等支援件数	2 件
専門職相談件数（成年後見制度専門職相談） 【弁護士相談：22 件、司法書士相談：23 件、行政書士相談：6 件】	51 件

イ. 地域ネットワーク活用

項目	概 要
成年後見制度利用支援委員会	開催回数：12 回（令和 6 年 4 月 18 日～令和 7 年 3 月 19 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階交流室 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士 内 容：市長申立対象案件における成年後見人等候補者の選定について等

ウ. 地域ネットワーク構築に向けた取組み

項目	概 要
成年後見制度利用促進に関する意見交換会	開催回数：3 回（令和 6 年 7 月 18 日～令和 7 年 1 月 16 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階交流室 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士、家庭裁判所 内 容：市民後見人養成について、苦情窓口について等

(3) 法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上保護を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 受任件数

後 見	保 佐	補 助	合 計
件 数 16 件 (新規 4 件) (終了 1 件)	2 件 (新規 0 件) (終了 1 件)	1 件 (新規 1 件) (終了 0 件)	19 件 (新規 5 件) (終了 2 件)

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

法人後見支援員登録者数	延べ活動回数	延べ活動時間数
2 名	87 回	184 時間

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

福祉関係者を対象に福祉大会を開催し、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進に努めた。

大会名	概 要	参加者数
令和6年度 松山市福祉大会	開 催 日：令和6年9月2日 会 場：松山市民会館 大ホール 内 容： ○表 彰 130名・19団体 ○群読発表 発表校：済美平成中等教育学校 放送部 みならミュージカルフレンズ みんなだーいすき	1,255名 (目標 1,800名)

②ボランティア養成講座事業

【市受託事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進に努めた。

講座名	開催回数	修了者数
点 訳	初級 20回・中級 20回	初級4名・中級3名
手 話（午前）	入門 19回・基礎 23回	入門28名・基礎25名
手 話（夜間）	入門 19回・基礎 23回	入門25名・基礎23名
朗 読	初級 12回・中級 13回	初級16名・中級12名